



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故と原子力安全について、茨城県東海村での**シンポジウム**開催のお知らせです。

「福島第一原子力発電所事故と原子力安全に関するシンポジウム」の開催

福島第一原子力発電所の事故は、4ヶ月経過してもまだ収束していない。この事故は、どのように発生し、なぜ、これだけ大きな影響を環境に与えたのか？ 具体的な事故の中身について、専門家がわかりやすく解説する。さらに、この事故から得られる教訓と、何が問題であったのかを明らかにし、これからの原子力安全のあり方を考えていきたい。

日時： 2011年8月2日（火）13：30 - 17：30（13：00 開場）

場所： テクノ交流会リコッティ

茨城県那珂郡東海村舟石川駅東3-1-1

<http://sangaku.jaea.go.jp/9-download/ricoti-map.pdf>

定員： 200名（事前申し込みは不要。当日定員数まで受付）

主催： 一般社団法人日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会技術分析分科会

後援： 茨城県東海村

プログラム：

- 13：30 - 14：00 地域から問題提起・・・・・・・・・・・・・・・・東海村 村上 達也村長ほか
- 14：00 - 14：20 福島第一原子力発電所事故の概要・・・・・・・・二ノ方 寿（東京工業大学）
- 14：20 - 14：50 事故収束への道、教訓と対策・・・・・・・・岡本 孝司（東京大学）
- 14：50 - 15：20 リスクとは何か・・・・・・・・・・・・・・・・山口 彰（大阪大学）
- 15：20 - 15：50 放射線影響・防護・・・・・・・・柴田 徳思（JAEA/J-PARC センター）
- 16：00 - 17：30 パネルディスカッション・・・・・・・・・・・・・・・・講演者ほか
「原子力安全をどう考えていくべきか」